

# 家族への愛情や感謝の気持ちを表そう



遺言に家族への気持ちを書くことにより、その効果が高まる

## 遺言(付言事項)の例



私が、子供たちに残してやれる財産は、多くはない。それでも、私の最期の責任として遺言を残すことにした。私の思いと皆の思いとは違う部分もあるかもしれないが、どうか汲み取ってほしい。

長男の一男へ

田仲家の跡取りとして、一生懸命にやってくれ本当に感謝をしている。私が病に伏してからというもの、一男に農業の一切を引き継いだが、その役目をしっかり果たしてくれ本当に安心して居る。農地を含む私の所有する財産は全て一男に渡す。これからも嫁のひろみさんと仲良く、そして、田仲家を盛り立てていってくださることを願っている。

二男の継雄へ

東京で幸せに暮らしていることを聞くにつけ、心からうれしく思う。跡取りの一男に全てを託したため、継雄には、渡す財産がないのが唯一の心残りだが、自宅を購入した際に私がした援助を思い、納得をして欲しい。そして一男と共に、兄弟仲良く助けあってください。

最期に、私の遺産を巡って悲しい思いをすることがないようにくれぐれもお願います。